

- 問1 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料の利用が、地球温暖化の抑制に寄与するとされている理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 植物を原料とすることで、燃焼時に二酸化炭素を吸収して酸素を放出する化学反応が起きるため | 2. バイオ燃料は燃焼させても二酸化炭素や排気ガスを一切排出しない性質を持っているため。 | 3. 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。 | 4. 石油などの枯渇性資源と比べて製造コストが極めて低く、経済活動を停止させる必要がないため。 |
|--|--|---|---|
- 問2 南半球に位置するケープタウンでは、北半球とは季節が逆転するため、7月頃に気温が低く1月頃に高くなります。また、夏季にあたる1月前後は乾燥して降水量が少なく、冬季にあたる6月から8月頃に降水量が多くなるという特徴があります。このような、夏に乾燥し冬に雨が降る特徴を持つ気候区分を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1. サバナ気候 | 2. 西岸海洋性気候 | 3. 地中海性気候 | 4. 温暖湿潤気候 |
|----------|------------|-----------|-----------|
- 問3 日本の山形市（北緯約38度）よりも高緯度に位置するヨーロッパの都市において、冬の気温が同緯度の他の地域に比べて下がりすぎず、比較的温暖に保たれる主な要因を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 低緯度側から流れてくる暖流の影響を受け、その上空で温められた空気が偏西風によって陸地へ運ばれるため。 | 2. 赤道付近で発生した上昇気流が、熱帯収束帯から高緯度へ向かって高温多湿な空気を直接送り届けるため。 | 3. 内陸部の広大な砂漠地帯で熱せられた乾燥した空気が、季節風によって沿岸部へと絶えず供給されるため | 4. 高緯度から南下してくる寒流が、偏西風によって陸地から吹き抜ける冷たい空気を遮断する壁の役割を果たすため。 |
|---|---|--|---|
- 問4 世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物（小麦）」であるものとします。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。 | 2. とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。 | 3. 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。 | 4. ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。 |
|--|---|--|--|
- 問5 各国の観光収入と観光支出の差を示す「観光収支」や、観光客の動向について述べた文として、正しいものを次のうちから選んでください。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. フランスは、豊かな文化遺産などを背景に世界最多の外国人観光客数を記録する観光大国である。 | 2. アメリカ合衆国は、観光支出額が世界最大であるが、観光収入が極めて少ないため観光収支は赤字である。 | 3. ドイツは、国民の休暇制度が充実しているため観光収入が世界一多く、観光支出はほとんど見られない。 | 4. 日本は、訪日外国人客数が増加した2010年代半ば以降も、一貫して観光収支の赤字が拡大し続けている。 |
|---|---|--|--|
- 問6 夏季の気温が高くなる時期に降水量が極端に少なく、乾燥する一方で、冬季に一定の降水が見られるという特徴を持つ気候区があります。この気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 夏季の豊富な降水と高温を利用した、大規模な稲作が行われている | 2. 夏季が短く気温も低いため、針葉樹の伐採を中心とした林業が行われている | 3. 夏季の乾燥に強いブドウやオリーブ、柑橘類などの果樹栽培が行われている | 4. 一年を通して降水量が少ないため、わずかな草を求めて移動する遊牧が行われている |
|-----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問7 イギリスのロンドンなどに見られる気候において、年間の気温と降水量の推移を示した資料の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 月ごとの降水量が年間を通じて安定しており、最暖月の気温が20度前後、最寒月の気温が5度以上である。 | 2. 夏と冬の気温差が非常に大きく、冬の降水量は夏に比べて極端に少なくなる。 | 3. 夏季に降水量が極端に少なく乾燥し、オリーブやブドウの栽培に適した気候である。 | 4. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、降水量のグラフが常に高い水準にある。 |
|--|--|---|---|
- 問8 年間を通して気温が高く降水量も多い熱帯地域において、石けんやマーガリンの原料となるパーム油を採取するために、広大な敷地で単一の作物を大規模に栽培する農園農業を何といいますか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|----------------|-----------------|
| 1. 油ヤシのプランテーション | 2. サトウキビのプランテーション | 3. 綿花のプランテーション | 4. カカオのプランテーション |
|-----------------|-------------------|----------------|-----------------|
- 問9 世界の諸地域の気候帯について、ある大陸の面積構成比を調べると、乾燥帯が約46.7%、熱帯が約38.6%となっている。この統計が示す大陸として、最も適切な名称を次から選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. 南アメリカ大陸 | 2. アフリカ大陸 | 3. 北アメリカ大陸 | 4. ユーラシア大陸 |
|------------|-----------|------------|------------|
- 問10 国連の世界食糧計画（WFP）などが行っている「学校給食プログラム」の目的として、その背景にある開発途上国の課題と解決策の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 特定の作物しか作れないモノカルチャー経済という課題に対し、学校で多様な作物の栽培方法を普及させる。 | 2. 家計を助けるために働く子どもが多いという課題に対し、学校で食事を提供することで教育を受ける機会を確保する。 | 3. 農業の機械化が遅れているという課題に対し、学校に最新の農機具を導入して子どもの労働負担を軽減する。 | 4. 都市部への人口集中という課題に対し、地方の学校の給食を豪華にすることで農村への移住を促進する。 |
|--|--|--|--|
- 問11 アラビア半島周辺や、サハラ砂漠周辺に位置するトンブクトウといった都市を含む地域において、歴史的に共通して広く信仰されている宗教の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドウ教 | 3. キリスト教 | 4. ユダヤ教 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問12 インド洋周辺の地域では、夏と冬で吹く方向が逆転する風を利用した航海が古くから行われてきました。この風の名称と、航海における利用方法について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. モンスーン（季節風）と呼ばれ、特定の時期に目的地へ向かう追い風として利用された。 | 2. ハリケーンと呼ばれ、強い上昇気流による推進力を利用して短期間で移動するために利用された。 | 3. 貿易風と呼ばれ、赤道付近で常に東から吹く風を利用して、インドからアフリカへ短期間で往復した。 | 4. 偏西風と呼ばれ、一年を通じて一定の方向に吹く風を利用して、アフリカから東向きに航行した。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収したものとみなされるため。	バイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素は原料となる植物が成長過程で光合成によって大気中から吸収したものです。そのため、大気全体の二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方に基づいています。これにより、石油などの枯渇性資源の使用を抑えつつ、地球温暖化の原因となる物質の増加を抑制し、持続可能な社会の実現に寄与することが期待されています。
問2	答え 3 地中海性気候	温帯のうち、特に大陸の西岸で見られる気候が地中海性気候です。中緯度高圧帯の影響を受ける夏に乾燥し、偏西風や前線の影響を受ける冬に雨が降るのが大きな特徴です。イタリアなどの地中海沿岸が代表例ですが、南半球の南アフリカ南部（ケープタウン周辺）やオーストラリア南部、チリ中部、アメリカのカリフォルニア州などにも分布しています。選択肢にある西岸海洋性気候は、一年を通して雨が平均的に降るため、夏に乾燥する地中海性気候とは明確に区別されます。
問3	答え 1 低緯度側から流れてくる暖流の影響を受け、その上空で温められた空気が偏西風によって陸地へ運ばれるため。	ヨーロッパの大西洋沿岸部では、低緯度から北上してくる北大西洋海流（暖流）が流れています。この暖流の上空で温められた空気が、一年中吹いている偏西風によって陸地へと運ばれます。この仕組みにより、ロンドンやパリのように日本の山形市よりも北に位置する都市であっても、冬の寒さが和らぎ、西岸海洋性気候と呼ばれる温暖な気候が形成されます。
問4	答え 3 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。	生産量と輸出量の統計が一致しないのは、その国における国内消費の規模が関わっているためです。中国やインドは人口が非常に多く、生産された小麦の多くが自国で消費されます。一方、ロシアやアメリカ、カナダは人口に対して生産量が極めて多いため、世界的な輸出拠点となっています。ちなみに、アメリカが生産・輸出ともに圧倒的なシェアを持つ作物は、主に飼料用として利用されるところこそです。
問5	答え 1 フランスは、豊かな文化遺産などを背景に世界最多の外国人観光客数を記録する観光大国である。	フランスは多くの世界遺産や美術館、独自の食文化といった観光資源に恵まれているだけでなく、周辺のヨーロッパ諸国からのアクセスが容易な地理的条件もあり、例年、外国人観光客数で世界トップの座を占めています。アメリカは支出も多いですが、広大な国土と多様なエンターテインメントにより世界最大級の観光収入を得ており、収支は黒字傾向にあります。日本は2014年に観光収支が半世紀ぶりに黒字化し、その後もインバウンド（訪日旅行者）の増加により黒字幅が拡大する傾向にありました。
問6	答え 3 夏季の乾燥に強いブドウやオリーブ、柑橘類などの果樹栽培が行われている	地中海沿岸などに代表される地中海性気候では、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受けることで降水量が非常に少なくなり、乾燥した気候となります。この厳しい乾燥に耐えられるよう、皮の厚い葉を持つオリーブや、深い根を張るブドウなどの果樹栽培が古くから発展してきました。これに対し、夏季に多雨となる地域では稲作などが、一年中乾燥する地域では遊牧などが主に行われます。
問7	答え 1 月ごとの降水量が年間を通じて安定しており、最暖月の気温が20度前後、最寒月の気温が5度以上である。	西岸海洋性気候（Cfb）は、偏西風の影響を一年中受けるため、季節による降水量の変動が非常に少なく、毎月一定の雨が降ることが特徴です。また、暖流の影響で冬も極端には冷え込まず、夏は高緯度のために涼しく、気温の年較差が比較的小さいという特徴があります。
問8	答え 1 油ヤシのプランテーション	熱帯の気候条件を活かし、特定の農作物を大規模に単一栽培する形態をプランテーションと呼びます。石けんやマーガリンの原料となるパーム油は油ヤシの実から抽出されるもので、東南アジアなどで盛んに生産されています。サトウキビは砂糖、カカオはチョコレートの原料となる作物です。
問9	答え 2 アフリカ大陸	北部に世界最大の砂漠であるサハラ砂漠が広がり、南部にもカラハリ砂漠などが位置しているため、気候帯の中で乾燥帯が占める面積が最も広がっています。赤道を挟んで低緯度地域が広いこと熱帯の割合も高いですが、乾燥帯の面積がそれを上回るのがこの大陸の大きな特徴です。
問10	答え 2 家計を助けるために働く子どもが多いという課題に対し、学校で食事を提供することで教育を受ける機会を確保する。	開発途上国における教育の停滞は、貧困によって子どもが「労働者」にならざるを得ない構造に原因があります。学校給食は、空腹を満たすという直接的な支援だけでなく、学校を「食事を得る場所」と定義し直すことで、働くしかなかった子どもたちを教室に呼び戻し、教育という長期的な支援につなげる仕組みです。
問11	答え 1 イスラム教	アラビア半島で成立したイスラム教は、商業活動などを通じてサハラ砂漠を越えたアフリカ大陸北部へも伝わりました。トンブクトゥはかつてイスラム学問の中心地として栄えた歴史を持ち、現代でもこの地域ではイスラム教が文化や社会の基盤となっています。
問12	答え 1 モンスーン（季節風）と呼ばれ、特定の時期に目的地へ向かう追い風として利用された。	インド洋では、大陸と海洋の温まり方の違いにより、夏と冬で風向きが反対になる季節風（モンスーン）が吹きます。帆船時代の商人たちは、この風向きの変化を正確に把握し、目的地に向かって「追い風」が吹く季節を選んで出航することで、アフリカ東岸、アラビア半島、インド、東南アジアを結ぶ広大な海域での交易を可能にしました。一月などの冬の時期は陸から海へ、夏は海から陸へと風が吹く性質を利用しています。